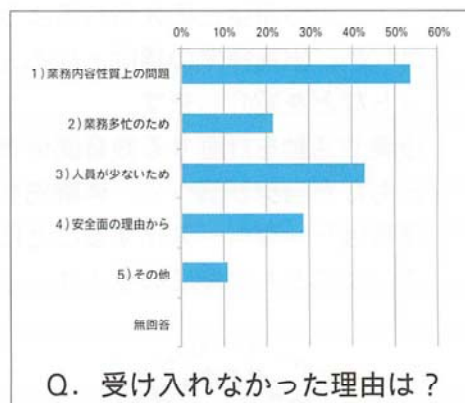
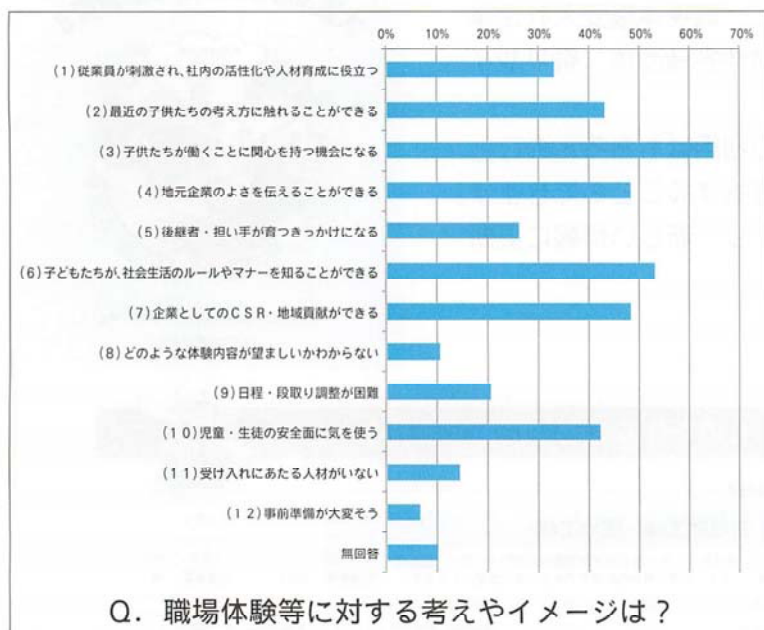


企業は、キャリア教育についてどのような考えをもっているの？

おおだて発人間力創造コンソーシアムでは、平成23年度に企業及び教育機関に対し、キャリア教育に係る「職場体験等に関するアンケート調査」を実施しました。

市内の約400の企業や役所、団体、教育機関にアンケートを依頼し、半数から回答を得ました。子どもたちへのメッセージには、各企業の誇りやスタンス、子どもたちへの期待が感じられました。



【職場体験等に対する意見、メッセージの中から】

- 自由な立場の今の段階で、たくさんの分野の仕事を見ることはプラスになる。
- 色々な仕事を体験したり見たりして、自分の身近にこんな頑張っている仕事や、職業があるのだということを知ってもらいたい。
- 地元企業の頑張りを知ってもらえる機会として、できるだけ協力したい。
- 期間は長いほうがいい。本来の姿を見てもらいたい。
- 年齢に合わせて、受入れプログラムを設けている。
- インターンシップ経験者が働いている。
- ▲日程について、事前に打ち合わせがしたい。
- ▲複数校が重なる場合もあるので、調整が大変。
- ▲何を学ばせたいのかをはっきり伝えてほしい。
- ▲会社や、職場体験についての事前学習をしてほしい。
- ▲職場体験によって、業務に対するマイナスイメージを持たれることが心配。
- ◎学校で学んだことを実際に体験することで身に付いたものになると思う。
- ◎子どもたちが目やメディアを通じて知っている職業はほんの一握りにすぎない。自分になりたい職業を見つけ勉強を頑張れば、きっと将来必要とされる人になれると思う。



アンケート結果から、企業は職場体験・職場見学・インターンシップが、子どもにとっても企業にとっても、大切だと考えていることがよく分かります。

一方では、受入れに当たっては、改善すべき課題もあると考えているようです。